

一般社団法人日本臨床検査専門医会 2022 年度第 9 回理事会

開催日時：2023 年 3 月 17 日（金曜日）メール配信

出席者：(返信者)山田俊幸副理事長，東田修二(庶務担当)，増田亜希子(会計担当)，
菊池春人，横崎典哉，福地邦彦，松下一之，五十嵐岳，田部陽子 各常任理事
藤井聡，植木重治，浅井さとみ，山田鉄也，尾崎敬，北中明，橋口照人 各理事
(確認者)古川泰司，東條尚子 各監事

【審議内容】

議案 2023 年度予算案の承認について

3 月 4 日に開催された理事会の予算案審議において，数点検討依頼の意見が挙げられたため，
修正予算案を資料とともに提出の上，2023 年度予算案の諾否について審議する。

添付資料(2023 年度予算(修正版)・年次大会資料・収支概算)に基づき，増田会計担当常任
理事より 2023 年度予算案修正について，下記説明があった(資料中，修正箇所は赤字で記載)。

なお，※マークの箇所(年次大会関連)については，後半にまとめて記載有り。

1. 収入の修正点

- ・ 会員会費：未収会費の一部が納入されること，新規入会者を考慮し，540 万円に増額。
- ・ 賛助会員会費・寄付金：ベクトン・ディッキンソン社から継続の意向を確認できたので，2022 年度と同様に 300 万円とする。
- ・ 生涯教育講演会参加費：第 2 回年次大会収支概算を参考にして 28 万円に減額 (※)。
- ・ 年次大会収入：年次大会の収入(広告，共催，寄付金収入+参加費収入)から計算した (※)。

2. 支出の修正点

- ・ 事務局雑費：役員変更登記租税公課として 1 万円増額。
- ・ 年次大会費：年次大会の収支概算では 288 万円となっていたが，オンデマンド配信の経費が削減できたので，250 万円に減額 (※)。
- ・ 会議費：2023 年度は対面開催の増加を見込み増額。

ただし，現時点ではどの理事会を対面で開催するのかがはっきりしないため，収

支が合うように増額。

3.「法人税等」の記入欄を,支出にすべて含める形に修正(顧問会計士岡部先生に相談済)。

【※年次大会費に関する補足説明】

- ◆支出：添付資料第2回年次大会収支概算では,総額288万円で,WEB中継費が81万円計上。2023年度は学会放送にオンデマンド配信をまとめて委託することで,経費削減を図っている。2023年度予算案では,オンデマンド配信の経費は,各委員会,年次大会に案分して計上。年次大会の案分は342,000円であることから,WEB中継費は多く見積もっても40万円くらいで済むと考えられる。また,生涯教育講演会の謝金等については本部会計(教育研修事業費)に計上しているが,年次大会の支出にも含まれて二重に計上されている可能性があるため,若干の減額が望ましいと思われる。

上記を踏まえ,年次大会の支出は288万円→250万円(38万円減額)とした。

※実際にはもう少し支出が少なく済む可能性あり。

- ◆収入：年次大会の収支概算の収入には,生涯教育講演会の参加費も含まれている。

参加費を年次大会5000円,生涯教育講演会2000円とし,140名で概算を出すと,年次大会の収入70万円,生涯教育講演会参加費28万円となる。現時点で広告・共催セミナーや寄付金の合計が130万円(実際には138万円入金予定)が見込まれる。また,本部からの補助金が50万円入るで,年次大会の支出=年次大会収入+50万円とするとわかりやすい。

上記を踏まえ,年次大会収入は200万円(参加費70万円,広告・共催セミナー収入と寄付金収入の合計130万円),本部補助金:50万円(2023年度予算案には記載なし)生涯教育講演会費:28万円とした。

上記,審議内容につきゞ谷理事長名にて理事全員に審議メールが配信され,出席理事全員により承認された。

以上により,2023年3月24日をもって本件は議決された。

2023年 5月 29日

理 事 長 り 谷 直 人